

科目	数学研究	学年	第3学年	開講	通年	必修	2 単位
----	------	----	------	----	----	----	------

学習目標	平面上の曲線と複素数平面についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。
------	---

教科書：「詳説 数学Ⅲ」 啓林館
 副教材：「マスグレード 数学Ⅲ」 啓林館、「クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B」数研出版、「クリアー数学演習Ⅲ」数研出版

学習計画及び評価方法
 a 知識技能
 b 思考・判断・表現
 c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考査	評価の観点		
							a	b	c
前期	複素数平面	複素数平面	複素数平面	・ 複素数を複素数平面を用いて図形的に表現することで、複素数の諸演算が平面上の図形的な性質として表されることを理解するとともに、複素数を用いて図形の性質を考察できるようになる	4	中間	○	○	
			複素数の極形式				○	○	
			ド・モアブルの定理		○		○	○	
		平面図形と複素数	平面図形と複素数		5		○	○	
	2次曲線	2次曲線	放物線	・ 2次曲線の基本的な性質および曲線がいろいろな式で表現できることを理解し、具体的な事象の考察に活用できるようにする。	6		○	○	
			楕円				○	○	
			双曲線		○		○		
			2次曲線の平行移動		○		○		
			2次曲線と直線の共有点		○		○	○	
			2次曲線と離心率		7		○	○	○
			前期 授業評価						
後期	2次曲線	媒介変数と極座標	曲線の媒介変数表示	・ 2次曲線の基本的な性質および曲線がいろいろな式で表現できることを理解し、具体的な事象の考察に活用できるようにする。	9	中間	○	○	
			極座標と極方程式				○	○	○
			いろいろな曲線		○		○	○	
	受験対策	共通テスト試験対策	受験対策		10		○	○	○
							○	○	○
					○		○	○	
	受験対策	共通テスト対策 2次試験対策	受験対策		11		○	○	○
							○	○	○
					○		○	○	
	後期 授業評価				12		○	○	○

評価の観点	・ 数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしているかどうか。 ・ 事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題を解決できるかどうか。
評価方法	○ 知識・技能：定期考査 ○ 思考・判断・表現：定期考査・レポート ○ 主体的に学習に取り組む態度：ワークショップ型授業・レポート